

「白銀の丘」を吹き渡る風にも、ようやく秋の気配が感じられる今日の佳き日、青森県立八戸北高等学校が、創立六十年の節目を迎え、盛大に記念式典が挙行されますことを、心からお祝い申し上げます。

八戸北高等学校は、昭和三十八年、高校進学希望者の急増や大学進学教育への要望に応えるために、八戸市立湊小学校の一部を仮校舎として創設されました。創設以来、校訓をあえて設けることなく、秩序ある自由な校風を標榜し、併せて、校歌の一節にある「北はきびしくきよきもの」という凜とした潔い言葉を心の拠り所としながら、本県有数の進学校としてその名声を高めてきたことは御承知のとおりであり、本県はもとより日本各地で活躍する多くの優れた人材を輩出し、輝かしい歴史と伝統を刻んでこられました。

本校が、本日の記念すべき日を迎えることができたのも、ひとえに地域の皆様をはじめ、関係各位の温かい御支援、惜しみない御尽力の賜物と、県教育委員会を代表し、深く敬意を表しますとともに、厚くお礼申し上げます。

八戸北高等学校は、「教育基本法」の精神に則り、本校生徒としての矜持と自覚を持ち、進取的にして清新澀刺たる学風をつくることに力を合わせると共に、個性を伸長し社会の発展に貢献し得る資質を開発することを教育方針に掲げ、自ら考え探究する生徒、目標に向かって挑戦する生徒、社会に貢献できる生徒の育成に取り組まれております。

なかでも探究力の育成に特に力を注いでおり、それぞれの年次の実態に応じたテーマを設定し、これまでさまざまな探究学習に取り組んでこられました。令和3年度からは「ユネス

コスクール候補校」として、国内におけるユネスコスクールのネットワークへの加入や活動が可能となり、様々な交流機会を得ることで学習の幅がより一層広がることが期待されています。

また、毎年九割近い生徒が大学に進学をする一方で、九割以上の生徒が部活動に加入し、日々自己の研鑽に励んでいます。今年度行われた県高校総体では、陸上競技部、弓道部、水泳部が東北大会に出場し、文化部においては、弁論部が全国高等学校総合文化祭で優良賞に輝き、吹奏楽部が全日本吹奏楽コンクール青森大会で金賞を獲得し東北大会に出場するなど、それぞれの活動がしっかりと継続して行われていることを伺い知ることができます。

在校生の皆さんには、意義ある節目を迎えたこの機会に、創立六十年記念ロゴにも描かれているレンギョウの花言葉「希望」の二文字を深く胸に刻み、これまで多くの先輩たちが築いてこられた輝かしい伝統に思いを馳せながら、一人一人が新たな歴史を創り上げていく主人公として、学業、スポーツ、文化活動に一層励んでいってほしいと思います。

結びに、本日御臨席の皆様には、八戸北高等学校に今後とも変わらぬ御支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、本校の限りない発展をお祈りし、お祝いの言葉といたします。

令和四年十月一日

青森県教育委員会

委員 平間 恵美